

宮島口地区のまちづくり

1. はじめに

広島県廿日市市にある宮島口地区は、古くから日本三景の一つとして知られ、年間450万人の方が国内外から訪れる厳島（通称、宮島という）の対岸に位置しています。多くの人が訪れる一方で、「行楽シーズンの著しい交通渋滞の発生」「世界遺産を擁する“宮島への玄関口”に相応しいとはいえない難い景観」「観光客の滞留スペースの不足」「港湾施設の老朽化」などの問題が生じていました。

このような宮島口地区の様々な課題を解決するために、広島県と廿日市市で連携し、広島県が実施する約1haの埋め立てを伴う宮島口栈橋周辺の港湾整備と廿日市市が担う宮島口地区のまちづくりをセットにした取組を進めています。

2. 宮島口地区まちづくりグランドデザイン

1) 宮島口まちづくり国際コンペの実施

宮島口地区のまちづくりに向けて、まちの将来像である「グランドデザイン」の検討・策定のため、国内外の専門家の方々から幅広くまちづくりのアイデアを募る目的で、「宮島口まちづくり国際コンペ」が廿日市市主催（広島県共催）により開催されました。

「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～をメインテーマとして、また、「景観形成」「賑わい創出」「アメニティ向上」をサブテーマとして、平成27年2月からアイデアを募集し、国外15件を含む230件の応募があり、最終審査において優秀賞3作品と佳作5作品が選定され、最終審査の際には公開プレゼンテーションとし、SNS等を通じて情報発信されました。

2) グランドデザインの策定

国際コンペで掲げたメインテーマを基本理念に、「世界遺産・宮島との繋がりを意識した観光交流拠点としての地区の快適性と賑わいの両立」を目指すべく、宮島口地区の地域特性、廿日市市等の関連計画、国際コンペでのアイデア等、様々な視点・観点を踏まえた「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」が平成28年3月に廿日市市により策定されました。

3) グランドデザインの実現に向けた取組

グランドデザインの実現に向けては「交通円滑化」「生活環境向上」「良好な景観形成」「賑わいの創出」が4つの施策の柱となっています。



「交通円滑化」については、地区に集中する観光を目的とした交通車両と地区内を横切る国道2号を通過する交通車両について、円滑な処理・誘導を行うとともに、駐車情報の提供やパークアンドライドなどによる交通抑制も実施しつつ快適な歩行空間を確保するなど、歩行者優先のまちづくりに取り組んでいます。

「生活環境向上」については、下水道整備や道路の美装化などによる居心地の良い生活環境の整

広島県知事 **湯崎 英彦**



備に取り組んでいます。

「良好な景観形成」については、宮島とのつながりを意識した、うるおいと落ち着きのある、「和」をイメージした街並みを目指して、地区内の景観形成のルールとなる「宮島口地区景観ガイドライン」が策定され、住民が主体となり建物の外構の改修や屋外広告物の除去などによる景観形成に向けた取組が進められています。

「賑わいの創出」については、地区内の商店会が主体となり、「宮島口まちづくりルール」が作成され、おもてなし勉強会やマルシェの開催などのまちづくり活動が実践されています。

3. 厳島港宮島口地区港湾整備事業

厳島港宮島口地区港湾整備事業は、前述の廿日市市の取組と連携し、港湾管理者の広島県が世界遺産の宮島の玄関口において、港湾施設や広域観光拠点としての機能を備えた旅客ターミナルなどを整備するものです。



厳島港（宮島口）浮棧橋

特徴の一つ目は、「大勢の観光客が利用する国内最大級の大屋根付き浮棧橋（84m×30m,干満差3.5m）の建設」です。この浮棧橋の設計にお

いて、フェリー航行の安全性や利便性に配慮した片持ちドルフィン構造や観光客の安全性に配慮した耐食性材質を採用しています。

特徴の二つ目は、「まちづくりと一体化した港湾整備」です。具体的には、宮島とのつながりを強く意識した景観形成を取り入れ、旅客ターミナル、4つの連絡橋、浮き棧橋、ターミナル前広場（大しゃもじ広場）の設計を和風景観に統一するとともに、多言語対応した設備やバリアフリーの多目的トイレの設置等、ユニバーサルデザインを積極的に採用した周辺整備とターミナルの整備を行いました。また、急増するインバウンド観光客に対応するため、観光交流拠点としての賑わいと地区に住む人々の快適性とを両立を図ってきたことも大きな特徴です。

工事の進捗状況については、ホームページ上で公開するほか、工夫を凝らした体験型の工事見学会を実施するなどの取組を行い、新たな旅客ターミナルが、令和2年2月29日に完成しました。

本事業は、地方都市の持続的発展に寄与するものであり、我が国の土木技術を活用した「みなとまちづくり」のひとつの手本として評価され、土木学会技術賞も受賞しました。

4. おわりに

宮島口は観光交流拠点としての賑わいと地区に住む人々の快適性を併せ持つよう、ハード・ソフトの両面からまちと一体となって将来にわたって持続的に発展するまちづくりを進めています。

広島県にお寄りの際は、感染予防をしていただきながら、今回御紹介しました宮島口を拠点として世界遺産・宮島をはじめ、原爆ドーム、鞆の浦やしまなみ海道など様々な広島県の観光名所をぜひお楽しみください。